学校番号	3030

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	エッセイ・ライティングⅠ	2	第２学年	・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced ・EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced ワークブック ・サクセス英作文

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、「書くこと」の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、複数の段落から成るエッセイなどを書くことを中心とした、発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する指導を行う科目です。資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちや、意見や主張などを、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにすることを目標としています。エッセイなどを書くだけではなく、統合的な言語活動を通して「話すこと［やり取り］」や「話すこと［発表］」として、ディスカッションやプレゼンテーションも行うことで、発信能力を総合的に高めていきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標			日常的な話題や社会的な話題に関して、立場や状況が異なる人々の考えを参考にしながら、聞いたり読んだりした情報や相手の意見を踏まえて、詳しく議論を続けることができる。	日常的な話題や社会的な話題に関して、聞いたり読んだりした情報に基づいた説明を、相手の理解に配慮しながら、詳細を交えつつ分かりやすく伝えることができる。	日常的または社会的な話題に関して、さまざまな文章の型に合わせて構成や展開を工夫して、詳細を交えつつ１つまたは複数の段落から成る文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・日常的な話題や社会的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく書いたり話したりする技能を身に付けている。	・日常的な話題や社会的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく書いたり話したり伝えている。	・日常的な話題や社会的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく書いたり話したり伝えようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Part 1 Lesson 1 “Have you ever experienced any cultural differences?” Lesson 2 “Where do you usually buy things?”	書くこと	a: 各課の言語材料（漠然と「人々」を表す we、 you など、非人称／形式主語の it、there 構文、受動態、無生物主語、現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形、不定詞（名詞的用法）、動名詞、名詞節を導く接続詞、名詞節を導く疑問詞、分詞、関係詞、不定詞（形容詞的用法）、意志・推量・義務・必要性を表す助動詞）を用いて、各課の題材について、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。 b: クラスメートに向けて、上記の言語材料などを用い、各課の題材についての意見を、理由や具体例を交えて、60 語以上で書いている。 c: クラスメートに向けて、上記の言語材料などを用い、各課の題材についての意見を、理由や具体例を交えて、60 語以上で書こうとしている。	・自由英作文 ・定期テスト（ライティング）
	第１中間考査			
	Part 1 Lesson 3 “International events and cultural exchange” Lesson 4 “How have you been lately?” Lesson 5 “How do you watch movies and things?”	書くこと	a: 各課の言語材料（列挙する表現、比較を表す構文、例をあげる表現、程度の差や変化を表す構文、順序立てて述べる表現、時を表す構文）を用いて、各課の題材について、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。 b: 各課の題材について、上記の言語材料などを用い、具体的な理由や説明を交えて、80 語以上のパラグラフを書いている。 c: 各課の題材について、上記の言語材料などを用い、具体的な理由や説明を交えて、80 語以上のパラグラフを書こうとしている。	・自由英作文 ・定期テスト（ライティング）
	第２中間考査			
	Part 2 Lesson 1 “Making life better” Lesson 2 “Good eating habits” Lesson 3 “Visiting a new place”	書くこと	a: 各課の言語材料（対比・対照する表現、類似を示す表現、譲歩を表す構文、結果を導く表現、原因を述べる表現、目的を表す構文）を用いて、各課の題材について、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。 b: 各課の題材について、上記の言語材料などを用い、具体的な理由や説明を交えて、80 語以上のパラグラフを書いている。 c: 各課の題材について、上記の言語材料などを用い、具体的な理由や説明を交えて、80 語以上のパラグラフを書こうとしている。	・自由英作文 ・スピーチ ・定期テスト（ライティング）
	期末考査			
後期	Lesson 4 “Where would you like to live in the future?” Lesson 5 “Which candidate is the right person?”	書くこと	a: 各課の言語材料（漠然と「人々」を表す we、 you など、非人称／形式主語の it、there 構文、受動態、無生物主語、現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形、不定詞（名詞的用法）、動名詞、名詞節を導く接続詞、名詞節を導く疑問詞、分詞、関係詞、不定詞（形容詞的用法）、意志・推量・義務・必要性を表す助動詞）を用いて、各課の題材について、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。 b: クラスメートに向けて、上記の言語材料などを用い、各課の題材についての意見を、理由や具体例を交えて、80 語以上で書いている。	・自由英作文 ・スピーチ ・定期テスト（ライティング）

	Part 3 Lesson 1 “Advertising a language school”		c: クラスメートに向けて、上記の言語材料などを用い、各課の題材についての意見を、理由や具体例を交えて、80 語以上で書こうとしている。	
	中間考査			
	Lesson 2 “Inventions and discoveries” Lesson 3 “How people use their smartphones” Lesson 4 “Our accommodation in Okinawa” Lesson 5 “Getting ready for high school exams”	書くこと	a:これまでに学んだ表現を用いて、各課の題材について、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。 b: 各課の題材について、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすいよう理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 3 つ以上のパラグラフで書いている。 c: 各課の題材について、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすいよう理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 3 つ以上のパラグラフで書こうとしている。	・自由英作文 ・定期テスト（ライティング）
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度